

# 中川を活かしたまちづくり事業

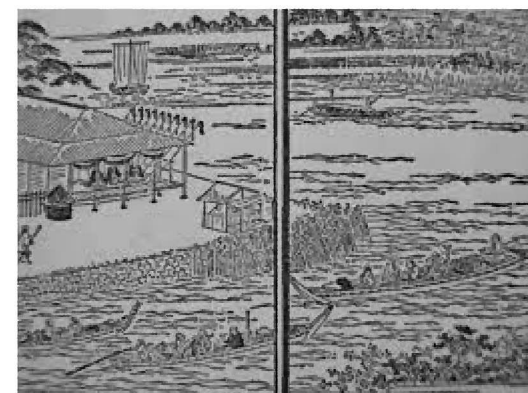
新橋建設を起爆剤とし、吉川の財産である中川をまちづくりに活かして行く提案

# はじめに

玉県羽生市付近に源を発し、埼玉県東部を南に流下する中川は総延長7.7Kmで東京湾に注いでいます。その内、約8Kmが吉川市を流れ、江戸時には吉川周辺は有数の水田地帯で取れた米を江戸に積み出すために中川を利用する舟運も発達し、吉川河岸、平沼河岸は物資の集積地として栄えていました。中川は吉川にとってかけがえの無い財産です。

川を再び市民が賑わう場所としたい、そして中川の歴史・文化を学び地のアイデンティティを取り戻したい。なんとかこの中川を生かしたまちづくり出来ないものかその可能性を探ることを目的に新吉川橋をシンボルとして辺環境を整備した「中川を活かしたまちづくり」構想を提案します。

た、災害時における河川を活用した人や物資輸送を想定した緊急用船着など整備し、帰宅困難者対策や物資輸送も将来構想として視野にいれます。



# 現状

- 1. 平成20年10月に越谷レイクタウンがオープンし、更に11月には三郷IKEA,平成21年秋には三郷ららぽーとがオープンしました。**当然のことながら吉川市の商工業環境は大きな影響を受けることとなります。抜本的な手を打たなければますます吉川市の商工業は衰退していくことが懸念されます。
- 2. 中川に沿った平沼周辺地区は、**中川の水運や街道の陸運で古くから市街地として、また、商業の中心としてまちの発展を支えてきた地区です。この地区は、伝統的な街並みや文化が残されている反面、生活道路が狭く、建物が密集しているため、市は平成4年に「平沼周辺地区まちづくり協議会」を発足し、地区の街並み整備や災害に強いまちづくりについて研究、検討しています。
- 3. プレジャーボート需要の増大に伴い**顕在化している放置艇(不法係留船)問題は港湾、漁港、河川等の公共水域の適正利用、災害、安全対策など港湾、漁港、河川の管理上の問題にとどまらず、地域の環境保全対策上深刻な社会問題となって来ています。
- 4. 首都圏で大規模地震が発生した場合においても、**陸上交通網は麻痺することが想定され、災害時の人や物資の輸送におけるルート確保は、大きな課題です。



# ①広域的水上輸送計画



## 1. 水上バス

通勤、通学用の水上バス計画は将来構想として活かしつつ、観光スポットとしての水上バス計画が必要です。中川と、新橋、東京湾を結ぶ水上バスルート、将来中川中川放水路、江戸川を結ぶ水上バスルートが考えられるが、新橋計画に合致させるためには、水上バスルートを設定し、この構想に基づき、中川沿いの商業、公園、スポーツ施設を検討。

## 2. スポーツ施設

ボート競技場、カヤック競技場、ボート免許取得教室、等水上レジャーに関する施設も将来検討される対象となる。

## ②親水商業施設

### 川の駅、道の駅

「川の駅」と「川の駅」が一体となった「吉川橋～川」構想の企画が出来ないでしょうか。新橋建設新橋周辺を道の駅と川の駅の両者の機能させたインフラ整備を実施するのです。「道の駅」「川の駅」が一体となった施設は全国では数少ない施設であり全国的な注目が集まります。その地域が賑わうことで更に近隣のレイクタウンも一体化した活性化が相乗効果で生まれてくるとは思いませんか。

### 水の郷さわら



### 納涼床



二条から五条にかけて90軒ほどの店が並ぶ。京料理以外にも中華やなど各国の料理が選べるので、気軽に納涼床を楽しむことができる。スターバックス京都三条大橋店でも納涼床を楽しむことができる。基本的に夜の納涼床が中心であるが、5月・9月は昼の納涼床も楽しめる。(毒防止のため、7・8月は昼の納涼床は営業しない。) 京都府鴨川条例においては、飲食を提供するために設置される。高床形式の仮設の工(同条例14条)を同条例における鴨川納涼床と定義し、それらについて知事が 河川法許可の審査基準を定めるものとしている。

# ③都市型マリーナ

運輸省港湾局、水産庁及び旧建設省河川局の3省庁合同で平成8年度から2ヶ年かけてその実態が調査された結果によると、全国の水際線近傍に確認された20.8万隻のプレジャーボートのうち、13.8万隻(66.3%)が置艇とされている。

## 大場川マリーナ



## 立体型駐艇場



## 「川の国 埼玉」のマリーナから海へ

財団法人埼玉県河川公社 牟田

財団法人埼玉県河川公社は、河川愛護思想の普及とプレジャーボートなどによる水上レクリエーション活動の需要に応え、河川水面利用の適正化を推進するため平成4年に設立されました。

現在、大場川マリーナ（八潮市）と芝川マリーナ（川口市）の2つの施設を管理運営し、ボートの保管業務をメインに、ボート免許取得の講習からレンタルボート、ボートの総合展示場の運営、また体験クルージングなど幅広く県民参加のイベントを実施しています。

両マリーナともボートで45分ほど航行する

と東京湾まで出られ、災害時の舟運としても位置付けられています。

また、海沿いのマリーナのようにもなく地元から出航できるアクセス、河川マリーナで陸上保管のため塩害もなくボートにやさしいことが魅力とします。

利用者は隅田川や東京湾ウォーターの人気スポットを見るクルージング、浦半島、房総半島、大島などへのローリングやフィッシング、トローリ上スポーツなど、また、春には花見り、夏には花火見学などを楽しんで埼玉の地元マリーナでボート免許船上から魅力いっぱいの川や海を楽しむことができます。

皆様のお問い合わせお待ちしております

名称	大場川マリーナ	芝川マリーナ
所在地	八潮市大字古新田	川口市海平3丁目
保管規模	陸上保管167隻	陸上保管95隻
上下架施設	ホイストクレーン(1隻)	ホイストクレーン(1基2way)
付帯施設	クラブハウス・給油所・駐車場	クラブハウス・給油所・駐車場
アクセス	JR常磐線「金町駅」、TX「八潮駅」よりバス。首都高速6号「八潮南IC」、東京外環道「三郷南IC」より各10分	JR京浜東北線「川口駅」よりバス。首都高速川口線「足立入谷IC」、「加賀IC」より5分
問い合わせ先	048-997-8581	048-226-5711
HPアドレス	ohbagawa.com	shibakawa-marina.com
財団法人埼玉県河川公社	川口市海平3-12-8 048-226-5963 www5.ocn.ne.jp/~kasen	



大場川マリーナ



芝川マリーナ

# 「道の駅・川の駅」を提案

新橋に隣接する吉川市側地区へ道の駅、川の駅を誘致し、これらの施設に付帯する観光施設またはレクリエーション施設として、河川敷地を一体的に土地利用計画を進める。市の両サイドに全国1の大規模商業施設があることから、道の駅、川の駅をどのような関係を持たせるかが問題となる。新橋周辺地区が未整備状態にあるためこの立地条件を考慮するとレイクタウンのアネックスとしての道の駅、川の駅が考えられる。レイクタウン駐車場の空満状態の表示、案内、道の駅に駐車し、レイクタウンへのアプローチも考えられる。又市の特産物を販売することも考えられる。水上バスはこの区間に観光的な活用も取り入れ、水上からアプローチできる市特産ウナギ納涼床等の施設を設置し、河川敷の公園化とともにレイクタウン、三郷駅前と全く異なる次元の施設計画を立てる。道の駅、川の駅はコア的なものではなく、文字通りウナギの寝床でも良いのではないかという発想があるのも面白いと思われる。

さらに首都直下地震などの大規模災害が発生した場合には、大量の緊急物資などを効率的に輸送することが求められる。県では国が川口市や戸田市に整備した防災用船着場や、県が八潮市に整備した大場川マリナーズなどを、河川を利用した水上輸送の核となる舟運輸送拠点として地域防災計画に位置付けている。この道の駅・川の駅が防災上の新しい拠点となる可能性も十分にあり得る。



# 河川を取り入れた町づくりに対する戦略

一般的スケジュール：

新橋の設計終了→周辺整備構想→各種調査実施→土地利用計画→規模算定→市都市計画の修正(マスタープラン)→実施

今回の対応：

→河川を利用した町づくり計画を早急に立案

→市と協議

→国土交通省、東京都、埼玉県と周辺整備につき協議

→道の駅、川の駅誘致の条件等整理。

まず、インパクトのある河川利用計画案を立案し、公表することにより、市、県、国土省への協議の土台を構築する。広域的な水上バス等の交通計画、大規模商業施設を取り込む将来計画も並行的に検討する。